

岡山済生会総合病院倫理審査委員会 会議の記録の概要（2026年2月分）  
（臨床研究関連のみ）

開催日時	2026年2月12日（木）16時30分～17時23分
開催場所	岡山済生会総合病院 管理棟4階 第3・4会議室
出席委員名	那須 淳一郎、北村 直也、則武 有美、千田 茂樹、南石 良子、兼田 紘美、高橋 由紀恵、鋼 雅美、渡辺 侑里子、南本 一志、山田 宗志

臨床研究について

研究課題名	当院責任者	区分	内容及び結果
限局的膵管狭窄における膵管生検の有用性の検討：多施設共同前向き観察研究	内科・医師・小川泰司	多機関共同研究（他院主管）	臨床研究の当院での実施体制について審査を行った結果一承認
大腸・十二指腸ESDにおけるAmber-red Color Imagingの偶発症予防効果の検討	内科・医師・原田馨太	多機関共同研究（他院主管）	特定臨床研究の当院での実施体制について審査を行った結果一承認
日本ホスピス緩和ケア協会による緩和ケア病棟により提供される専門的緩和ケアの質評価プロジェクト	緩和ケア科・医師・石原辰彦	多機関共同研究（他院主管）	臨床研究の実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した結果一了承
市中病院におけるがん遺伝子パネル検査の実施状況と課題に関する観察研究	内科・医師・藤井雅邦	単機関研究	臨床研究の実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した結果一了承
切除不能膵癌に対するConversion Surgeryの適応と治療成績に関する後方視的検討	外科・医師・佐藤博紀	単機関研究	臨床研究の実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した結果一了承
膵体尾部切除後における膵切離方法の違いが術後合併症（特に膵液瘻）に与える影響	外科・医師・佐藤博紀	単機関研究	臨床研究の実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した結果一了承
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算手術対応体制下で増加する常時滅菌委託器械に対する手術室看護師業務の工夫と評価	看護部・看護師・坂本真菜	単機関研究	臨床研究の実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した結果一了承
Rapid Response System(RRS)データレジストリーに関する多機関共同研究	救急科・医師・野崎哲	多機関共同研究（他院主管）	臨床研究の変更事項について報告を行い、実施許可を得たことを報告した結果一了承
院内心停止データレジストリーに関する多機関共同研究	救急科・医師・野崎哲	多機関共同研究（他院主管）	臨床研究の変更事項について報告を行い、実施許可を得たことを報告した結果一了承

治癒切除不能進行 HER2 陰性胃癌に対するニボルマブ+化学療法の効果予測マーカーとしての生検検体による PD-L1 発現の妥当性の検討	内科・医師・ 那須淳一郎	多機関共同研究 (他院主管)	臨床研究の変更事項について報告を行い、実施許可を得たことを報告した 結果一了承
切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ペバシズマブに TACE 療法を追加することの有効性を検証する多施設共同第 III 相臨床研究	内科・医師・ 池田房雄	多機関共同研究 (他院主管)	特定臨床研究について他院で発生した重篤な疾病及び軽微な変更について報告した 結果一了承
IPMN 術後における残膵病変のリスク因子および長期予後の検討	内科・医師・ 藤井雅邦	多機関共同研究 (他院主管)	臨床研究の実施について報告を行い、実施許可を得たことを報告した 結果一了承
ダプロデュスタットとクロピドグレルの併用・非併用における有効性・安全性の観察研究	薬剤部・薬剤師・ 山野健司	単機関研究	臨床研究の実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した 結果一了承
浸潤性粘液性腺癌の臨床病理学的検討	外科・医師・ 奥谷大介	多機関共同研究 (他院主管)	臨床研究の実施について報告を行い、実施許可を得たことを報告した 結果一了承
胸膜浸潤を有する小型肺癌に対する縮小手術の予後及び再発形式に関する研究	外科・医師・ 奥谷大介	多機関共同研究 (他院主管)	臨床研究の実施について報告を行い、実施許可を得たことを報告した 結果一了承
高度肝門部悪性胆管狭窄に対する金属ステントを用いた両葉 2 領域と 3 領域ドレナージの多施設共同無作為化比較試験	内科・医師・ 藤井雅邦	多機関共同研究 (他院主管)	特定臨床研究の終了について報告した 結果一了承